

職場における熱中症防止のためのガイドライン骨子（案）

第 1 目的等

1. 目的

2. 本ガイドラインの対象

3. 実施事項

第 2 リスクアセスメント及びその結果に基づく措置

1. ハザードの特定

2. WBGT 値の把握

3. WBGT 値の評価と熱中症リスクの算定・評価

（1）リスクの見積り

（2）リスクの低減のための措置の検討

第 3 実施事項

1. 労働衛生管理体制の確立等

（1）各種管理者等の選任と役割

（2）作業手順・作業計画の策定

（3）緊急連絡網の作成及び周知・緊急時の作業手順の作成及び周知

2. 作業環境管理

（1）WBGT 値の低減

（2）休憩場所の整備等

3. 作業管理

- (1) 作業時間の短縮等
- (2) 暑熱順化
- (3) プレクーリング
- (4) 水分及び塩分の摂取
- (5) 服装による身体冷却
- (6) 作業中の巡視

4. 健康管理

- (1) 健康診断結果に基づく対応
- (2) 日常の健康管理等
- (3) 労働者の健康状態及び暑熱順化の状況等の確認

5. 労働衛生教育

6. 異常時の措置

7. その他

(1) 実施時期

(2) 発注者による配慮

(3) 個人事業者等やいわゆる「スポットワーク」を利用する労働者について